



新年度が始まりました。4月1日には、新採用職員との対面式が執り行われました(上写真)。内科・腎内科を専門とされている藤井美里医師が佐渡総合病院から、内科・呼吸器内科を専門とされている齋藤 暁医師が新潟県立新発田病院から、放射線医の清野康夫医師が新潟県立新発田病院から、今まで当院の麻酔を助勤でお手伝いいただいていた熊谷雄一医師が厚生連本部から当院に赴任されました。また新人看護師4名はじめ、当院にフレッシュな方々が加わっていただきました。引き続き、皆様よろしく願いいたします。

なお、柄澤副院長がこの3月いっぱいまで定年退職されました。平成10年7月に当院に赴任され、約27年間勤務いただきました。豊栄病院の透析室の立ち上げを全くのゼロから行い、同年8月に開設いただきました。平成19年7月からは副院長に就任され、また患者総合支援センター長としても豊栄病院の顔として、活躍いただきました。大変ありがとうございました。柄澤医師の、透析業務や患者さんについての診療上の後任には、藤井医師に就いていただきました。ご挨拶をいただきました。

「はじめまして。4月から赴任して参りました内科の藤井 美里 (ふじい みさと)と申します。出身は佐渡で、平成30年に大学を卒業し、今年で医師8年目になります。腎・膠原病内科に所属しており、これまでに、新潟県立中央病院、けいなん総合病院、新潟大学病院、前任地の佐渡総

合病院とさまざまな場で学ぶ機会をいただき、腎臓内科医として専門性の高い診療を経験させていただきました。

豊栄病院では、これまでの総合病院とは異なり、専門科によらず幅広く対応する能力が求められると伺いました。初期臨床研修以来久しぶりに経験する症例もあり、悩むこともあるかと思いますが、また一から学び直すつもりで頑張りたいと思います。余裕があれば、地域のイベントなどにも参加できたらいいなと思います。

これから豊栄地域の皆様のお力になれるように精一杯取り組みますので、どうぞよろしくお願い致します！」



私の4月上旬のおすすめスポットは、五泉市の水芭蕉公園、福島潟の桜並木(上各々写真)、また下旬は中条の胎内チューリップフェスティバル(昼頃は大渋滞、15時くらいになると空きます)です。

関 病院長は、病院長就任1年となりました。4月からの病院体制などを語っていただきました。「病院には、この春4名の医師加わりました。麻酔科と放射線科に1名ずつ、内科に2名です。麻酔科の増員は、今まで以上に手術対応の幅が広がること、放射線科は更なる画像診断の精度・

管理の向上が期待されます。内科は呼吸器・アレルギーを専門にしている医師と腎臓の医師です。これからの活躍をご期待ください。

先月末に「脳卒中」をテーマに北区の市民公開講座が開かれました。告示一週間で100名を超える参加の応募があり関心の高さを感じましたし、会も満員盛況でした。講師の循環器内科ご専門の堀先生(堀医院)からは高血圧を治療せずにいると心臓病(心不全)や脳卒中につながることを、脳神経外科の森田先生(桑名病院)からは、病院の治療経験と県の調査でも北区では他所の地域より脳卒中の発症が多いこと、背景として高血圧や塩分摂取が多いこと、またどちらの先生からも予防が大事というお話がありました。さらに栄養士の中村講師(新潟医療福祉大)から予防の実践編として減塩の工夫や調理の注意点も楽しくためになるお話をいただきました。私は閉会の挨拶で、「今日得た学びを皆さん一人一人が自分の周りの人に繋げ、広げることが大事です」と、お勧めしました。今後もこうした地域

貢献に積極的にかかわっていきたいと思っています。

当院の医師は、それぞれの専門分野を軸として、他の領域も含めて力を合わせて広く診療し、地域に求められる総合診療の視点からの医療提供を展開していきたいと考えています。患者さんを「病気を持った人」ではなく、「地域で生活している人」として、病を治すだけでなく、地域で長く、安心して生活できる場をも考えての医療、そして福祉・介護とのつながりを大事にしていきます。これからも近隣の開業医の先生方始め、他の医療機関と手を取り合って、皆様の健康と、安心、安全な生活の場の維持に役立てますよう職員一同力を尽くします。よろしくお願いいたします。」

なおこの4月から患者総合支援センター長には、小林 真内科部長に就いていただきました。今後ともよろしくお願いいたします。

発行責任者・文責; 豊栄病院広報係 宮島 透